

6月4日、バレエ・プリンセス

美の極み 夢の世界

人間の身体が珠玉の音楽とともに奏でる夢の世界は奥深く、見る人の心を縛す。そうしたバレエ芸術の豊かな魅力をおさらためて感じるのが「バレエ・プリンセス」バレエの世界のお姫様たちだ。良質のアニメーション映画に接しているかのような目くるめく展開と、バレエならではの華やかな踊りを楽しむ感動の話題作が、金沢と東京だけで上演される。

金沢に

「お姫様」に焦点

この作品は、古典バレエのヒロインであり、女性の永遠の憧れであるプリンセス。お姫様IIに焦点をあて、「白雪姫」(音楽：チャレブニン)に始まり、「シンデレラ」(音楽：プロコフィエフ)、そして古典バレエの代名詞「眠れる森の美女」(音楽：チャイコフスキー)という誰もが知る物語で構成されている。

とはいえ単なるタイシエストや子ども向けではなく、バレエを愛する美しい少女アンが登場し、悪役のウィランにほんろうされたリ、善の精に優しく導かれ、たけしなから三つのプリン

セスの物語を旅するファンタジーに仕上がっている。

演出・振付は伊藤範子。

名門・谷桃子バレエ団のプリマバレリーナとして名をはせたが振付にも並々ならぬ才能を発揮し、先ごろミラノ・スカラ座での研修を終えて技量を一層磨き上げている。おとぎ話を美しく感動的に盛り上げ、センスあふれる秀作に仕上げた腕前は非凡だ。

新国立のスター

3人のプリンセスをはじめとする出演者も豪華だ。「眠れる森の美女」のオーロラ姫を踊る米沢唯、「シンデレラ」、「白雪姫」それぞれタイトル・ロール

「白雪姫」「シンデレラ」「眠れる森の美女」 一つの物語が誕生



三大プリンセス物語の主人公らが勢ぞろいする夢の舞台が楽しめる



「眠れる森の美女」のオーロラ姫を華麗に踊る米沢唯と、王子役の遠田良和

の池田理沙子、木村優里は新国立劇場バレエ団の公演で主役を務める。

なかでも米沢は昨年度の芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞したばかりで、現在最も見るべきバレリーナのひとつ。善の精の西田佑子、悪役ウィランの逸見智彦(改阿佐美バレエ団)も日本バレエ界の至宝である。王子役の橋本直樹、浅田良和も、日本バレエ界を束ねる日本バレエ協会の公演で主役を務める実力者だ。

ローザンヌ1位

ソリスト、アンサンブルも世界的コンクール受賞経験者が多数出演し、なかでも2014年にローザンヌ国際バレエコンクール第1位に輝き、世界最高峰のバリ・オペラ座バレエ団と短

期契約を交わした二山治雄が「眠れる森の美女」でフルバードを踊るのも見逃せない。

所属の垣根を越え第一線で活躍する、いま句のスターたちが集結し、一つの作品のなかで一丸となって共演するのは極めてまれだ。それが実現したのは、「バレエファンを1人でも多く増やしたい」という強い想いがあるからに違いない。美の極みであるプリンセスの世界に誘われ、そのきらめくオーラを全身に浴び、生き返ったような清々しい気分が帰路につけるだろう。(舞踊評論家・高橋森彦)

本多の森ホールで午後3時半開演

金沢公演(北國新聞文化センターなど主催)は6月4日(日)に本多の森ホールで午後3時半開演。チケットは全席指定で、S席7950円、A席6450円、B席4950円。申し込みは北國新聞文化センター—076(260)3535—まで。

金沢ケーブルテレビのお申し込みは
年中無休 0120-751-114